

泊発電所の耐震安全性評価実施計画書の見直しについて（概要）

経済産業省及び北海道より、平成19年7月16日に発生した新潟県中越沖地震を踏まえた対応として、泊発電所の耐震安全性の確保に関する指示及び申し入れがなされました。これらの指示及び申し入れに基づき、耐震安全性評価の実実施計画を見直し、本日、経済産業省及び北海道に報告しました。

1. 実施状況

基準地震動 S_s の策定のために、新耐震指針を踏まえ、敷地周辺で発生する地震に関する調査及び地質調査等を実施しています。

具体的には、敷地周辺で発生する地震に関して、各種文献調査及び観測データの分析・検討を実施しています。

また、地質調査に関しては、敷地近傍及び敷地周辺において、これまで実施してきた地質調査を補完するため、既存の文献調査、変動地形学的視点に基づいた地形調査、反射法地震探査による地球物理学的調査、地表地質調査、海上音波探査及び海上音波探査記録の再評価等を実施しています。現在、一部補足的な調査及び断層等の活動性・連続性の検討を実施しています。

耐震安全性評価にあたっては、これらの調査の結果を反映し、各施設の評価を実施する予定であり、また、平成19年能登半島地震及び平成19年新潟県中越沖地震等から得られる知見を、適切に反映します。

2. 見直し工程

泊発電所1号機及び2号機の耐震安全性評価の報告については、当初の工程よりも1ヶ月前倒しして平成20年11月とし、更に泊発電所1号機については、平成20年3月に中間報告（地質調査結果、基準地震動 S_s の策定結果及び主要施設の評価結果の中間的な報告）を行う工程とします。また、地質調査については、反射法地震探査等の追加調査を行ったことから、工程を2ヶ月延長し、平成19年8月までとします。

見直し工程（予定）を下記に示します。

発電所名等	工 程		
	18年度	19年度	20年度
泊発電所1号機及び2号機 地質調査 耐震安全性評価		H19.8	H20.3 中間報告 (泊発電所1号機)
			H20.11
泊発電所3号機 地質調査 耐震安全性評価		H19.8	
			H20.9

3. 参考（自主的な検討）

上記耐震安全性評価とは別に、当面の自主的な検討として柏崎刈羽原子力発電所で観測されたデータを基に設備に与える影響の概略検討（観測データを用いた概略検討）を泊発電所1号機について実施し、1ヶ月を目途に報告する予定です。

以 上